

旭市介護保険運営協議会・旭市地域包括支援センター運営協議会会議結果

日時 令和5年8月17日（木）

午後2時00分～4時10分

場所 旭市役所2階 会議室202・203

出席委員 結城委員、小関委員、今野委員、齋藤委員、嶋田委員、大矢委員、
中居委員、（増田委員、高木委員欠席）

事務局 椎名課長、嶋田副課長、椎名副主幹、石橋副主幹、藤本副主査
基幹型包括支援センター 山口副主幹（管理者）
中央地域包括支援センター 井上管理者
東部地域包括支援センター 中村管理者
北部地域包括支援センター 遠藤管理者

傍聴者 なし

1. 開 会（14：00） 進行 嶋田

2. 会長挨拶 結城会長

3. 議 事 議長 結城会長

介護保険運営協議会

（1）第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価について

説明：嶋田

委員 項目番号3の支援チームの1チームは、内容によりチーム人数が違って
くるのか、決まった人数で動いているのか。

事務局 チーム数は、毎回変更はない。委員の任期は2年となっており、チーム
自体は旭中央病院の脳外科の先生、精神科の医師、基幹型包括もメンバ
ーに入っている。医療と介護の関係者によって決まったメンバーで実施
させていただいている。

委員 項目番号1の現状と課題の中の、交通手段がないというところで、以前
から訪問Dの移動支援の手上げするところがないが、行政の方でどうい
った働きかけを行っているのか確認したい。

事務局 この交通手段というのは、主に通いの場に行きたいが、歩いていけない
ので、車を利用したいという方を対象とした訪問Dですが、引き続き事
業所の、例えばデイサービスの空いている時の車を活用できないかなど
とか、今後も発掘および交渉などをしながら見つけていきたい。

- 委員 2点あり1点目は項目番号9の課題と対応策のところ、外部委託による質の高いケアプラン点検について、これは具体的にどういったものなのか教えていただきたい。
- 事務局 ケアプラン点検の業務委託について、ケアプラン点検を専門的に請け負っている業者がいくつかあり、点検を専門に行っている介護支援専門員が所属しているので、そういったところに委託をすることで公平な視点で細かく分析ができる。私達事務職員よりも専門的なところまでしっかりと見ることができると考えており、令和5年度に関しては外部委託を検討している状況です。
- 委員 (委員からの意見) そのこのところに付け足したい。海匠ケアマネ連絡会からの代表で来ているが、この課題と対応のところ、ケアマネジャー一人ひとりの意識を変えることは非常に難しい、と書かれていてとても残念に思う。海匠ケアマネ連絡会でも毎月各研修会を行っており、県の介護支援専門員協議会での研修会もある。もちろんケアマネも何年か毎で更新を8日間という長い日程で行っており、そういったところもきちんと図っているので、理解はしていただきたい。
- 委員 項目番号12、13のところの実施内容のカウントの仕方について、12回というと毎月1回は点検しているという理解で良いか。実際にどの位のデータの量とか件数を扱っているのか参考までに伺いたい。
- 事務局 国保連の縦覧点検データについて、毎月送られてきて点検している状況。いろいろと点検項目があり、8～10帳票ぐらい大体出てくる。ものによって件数はばらつきがあり、国保連の設定によって、実際にはOKエラー、特に問題がないものも、その規定に引っかかってくるものは全て抽出されてしまうので、何とも言えないが、多いものだと、一つの帳票あたり20件とか30件とか出たり、1～2件のものもある。
- 委員 では、そういった突合だとかエラーが出てくるものを、個別に点検しているという理解でよろしいか。
- 事務局 おっしゃる通り。
- 委員 項目番号7の介護給付費の適正化のところの課題の主要5事業とは何か。
- 事務局 主要5事業の内訳は1つめが要介護認定の適正化、2つめがケアプラン点検、3つめが住宅改修、福祉用具の実態調査、4つめが医療費情報との突合・縦覧点検、5つめが介護給付費通知です。
- 委員 項目番号4の災害時支援体制の充実というところで、この取り組み自体

はすばらしい取り組みと思うが、風水害があった時に、結局避難が間に合わなくて、緊急安全確保のような対応が、近年増えているような印象がある。ニュースや報道で見ているとマイタイムラインみたいな形で高齢者や障がい者の方が、事前に自分がどういう対応をしなければいけないとか、どのタイミングで避難するかとか、避難できなかった時に家でどう過ごすかとか、やはり予防的な観点からの個別対応も大事になってくると思う。2 番目ぐらいに災害対応に関して支援を充実してほしいというアンケートもでていたかと思うので、そういった取り組みを、今後、次期計画の中に含める必要があるのではないかと感じたので、この場で意見させていただいた。

事務局 ぜひ計画の中にも組み込みたい。総務課地域安全班で要援護者台帳の整備を進めている。実際に独居台帳も活用し、風水害が多い時など居宅介護支援事業所あてに、まず基幹型包括の方から、災害に関する情報を FAX するとともに、事業所の被害状況および担当の独居高齢者の方、または医療ニーズの高い方など優先度の高い方の安否確認を行うよう連絡している。その回答の内容について、不明な点や確認できないということに関しては市で協力して確認したり、被害状況に応じての支援などを進めていく流れとなっている。

台帳に関してはまだまだ課題も多いが、普段からケアマネジャーが高齢者宅に訪問されたときに、緊急連絡カードなど年 1 回の修正とともに、平時から意識づけがやはり重要かと考え、そのときに備蓄品や避難所のことを話してもらうよう依頼している。

委員 項目番号 1 の通いの場を知らないというアンケートの答えが 68% と多い。では知らないままなのかと思ったのと、介護予防、自立の支援、重度化にならないためには、本当に通いの場はとても必要だと思っている。もう少し、みんなに知ってもらうにはどういう方法で周知しているのか。

事務局 介護予防サポーター養成講座の方をさせていただいて、参加の方は意識の高い方を中心に、実際にその方が中心となる役割を担っていただいて、通いの場を設立の方に向けては行っている。周知に関しては、高齢の方なので、活字の方が良ということで広報中心です。
あと窓口や、包括支援センターが個別訪問ときに、お知らせしている。まだまだ足りないので、今後も積極的に周知をしていきたい。

委員 項目番号 6 の介護人材確保で、先ほどの策定委員会で初任者研修助成、高校生の未来の夢案内人など、そういった事業は理解できたが、やはり主任介護支援専門員も不足しているというところで、そういったと

ころの人材不足も、今後一緒にフォローしていった欲しい。

事務局 市では去年、昨年度から映画上映会と合わせまして介護の魅力発信ということで企画をしており、今週の土曜日にケアニンの上映会を行う。その他に学生実習として、保健師の学生実習ということで、健康づくり課を中心に千葉科学大と、城西国際大学の看護学部の学生3年生、4年生の実習を受けている。
今、学生のほとんどが、奨学金を受けており、まずは看護師として病院に働いて、それから保健師になったり、地域に出るという方も非常に多いというのが実情。
主任ケアマネが不足していることに関しては、なかなか援助方法が見当たらないが、基幹型包括としては、ぜひ主任ケアマネとなる人材がいればバックアップしたい。

(2) 介護保険事業運営状況について 説明：椎名

委員 7ページのところの、伸び率の増減が全てマイナスになっている。
内容的には見込みよりも少なかったのだと思うが、具体的に何が原因であったのか分かれれば。

事務局 計画値と比較しており、4年度中に開設予定であった施設が開設できなかったり、あとは介護予防費が減ったことによって、計画より減っている部分がある。
あとは単純に認定者数の減や、コロナでの利用控えなども原因のひとつと考えられる。

委員 介護保険の増が見込まれると大きく掲げてあったが、フタを開けてみたらみんなマイナスなので、何でなのかと思った。

(3) 地域密着型サービスの状況について 説明：藤本

質問 なし

(4) 地域支援事業について 説明：石橋

質問 なし

(5) 日常生活圏域の区域の変更について 説明：石橋

委員 先ほどの地域密着型サービスの中にも日常生活圏域という言葉がでてきたが、今回、市内を三つの区域に分けることで、地域密着型サービスの利用に関して何か影響が出たりしないのか。

事務局 それについては利用に関して影響はでないということで考えている。

全員賛成により承認

地域包括支援センター運営協議会

(1) 地域包括支援センター運営状況について

説明：山口

質問 なし

(2) 地域包括支援センター業務委託の公募について

説明：石橋

質問 2月の時点で、3地域とも全てシャッフルの形になるのか。

今やっているところがリセットされるということか。

回答 契約が満了するので、再委託となる。

4. その他

特になし

5. 閉 会 (16 : 10)